

集落地域の大きな安心と希望をつなぐ

「小さな拠点」づくりガイドブック

概要版

～つながり、つづける地域づくりで 集落再生～

人口減少や高齢化が進む過疎地域などの集落では、今後、暮らしを続けていくことが危ぶまれる状況が全国各地で一層拡大していくことが懸念されています。

こうした状況に対し、地域の再生を目指す新たな取組みとして、暮らしの安心と希望をつなぐ「小さな拠点」づくりが始まっています。

この資料は、「小さな拠点」づくりを通じた持続可能な集落地域づくりを考えるガイドブックとして、集落地域の再生に取り組んでおられる地域の関係者のみなさま、地方自治体のみなさまの参考にしていただくことを期待するものです。

集落地域における「小さな拠点」とは？

人口減少や高齢化が進み、商店や診療所など、日常生活に必要なサービスが身近な地域から徐々に失われていきます。

生活サービスが地域の中でばらばらに点在し、公共交通も不便で、暮らしにくくなっています。

地域の未来を受け継ぐ若者がいなくなり、コミュニティが失われるのではとの不安が広がっています。

暮らしの安心と
未来の希望のために

「小さな拠点」による地域づくりを考えてみませんか？

小学校区など、複数の集落が集まる地域において、商店、診療所などの生活サービスや地域活動を、歩いて動ける範囲でつなぎ、各集落とコミュニティバスなどで結ぶことで、人々が集い、交流する機会が広がっていく。新しい集落地域の再生を目指す取組み、それが「**小さな拠点**」です。

集落地域における「小さな拠点」の役割とは？

各種生活サービスや地域活動をつなぎ、各集落との交通手段が確保された「小さな拠点」は、**集落地域の暮らしの安心を守る「心の大きな拠り所」**であり、**地域の未来への展望を拓く「希望の拠点」**となることが期待されます。



集落地域の人や資源、活動をつなぎ、暮らしの安心と未来の希望を育む拠点



なぜ「小さな拠点」をつくる必要があるの？

人口減少や高齢化が進むにつれて、地域の『困りごと』が増えています…



ふだん利用していたスーパーが閉店しました。路線バスの便も少なくなり、車が運転できない人の中には日々の生活への不安が広がっています。

小学校が廃校になりました。学校の行事で顔を合わせることもなくなり、地域に活気がなくなりました。一層地域が衰退するのではないかと心配です。



若い人が少なくなり、お祭りなどの伝統行事を続けるのが難しくなってきました。「俺たち若い世代で何とかしよう」という意見も出のですが、どうすればよいか…。

これまで診療所や保育所、集会所などを個別に整備してきましたが、利用者が減ってきて、単独に考えているだけでは存続させることが難しくなっています。



「小さな拠点」づくりによる『困りごと』の解消

地域を新たに「つなぐ」ことで、地域の再生を図る

生活に近い場所につくれる！

自分たちでつくり、運営できる！

小さいからこそ

いろいろな機能を組み合わせられる！

地域の中で人や資源を活かせる！



空間をつなぐ

地域のあちこちに点在する生活サービスや地域活動を、歩いて動ける範囲で組み合わせる



役割をつなぐ

個別では採算が合わない生活サービスや活動をまとめ、相乗効果で利用拡大を図る

「小さな拠点」づくりによって地域の困りごとを解決
↓
持続可能な地域づくり



時間をつなぐ

配達の際りに農作物を集荷するなど、時間をうまく使って、異なる活動を合わせ技で行う

「小さな拠点」をつくとどのような効果があるの？

「小さな拠点」ができて地域が変わった！ ～地域からの声を紹介します～

「小さな拠点」ができたことで多くの住民が「暮らしの安心と未来の希望」を感じています。

「小さな拠点」ができたことによる効果は、幅広い世代で実感されています。



自分が歳をとって遠出できなくなっても、生活に必要なものが揃っているので、安心して生活できます。

住民の出資でつなぎとめた商店なので、みんなが自由に買い物できるのが何より心強いです。



育児サークルに参加するようになってから、知り合いが増えました。他の地域からくるとなかなか友人もできず、困っていたので良かったです。

小さな拠点ができたら、医療、福祉、教育などほとんどのサービスが受けられて便利です。図書館も充実していて良いです。



「小さな拠点」づくりの取組事例

高知県四万十市 大宮地区

JA の撤退を受け、8割の住民が出資し株式会社を設立。JA から施設を買い取り、小売店とガソリンスタンドの営業を再開するとともに、高齢者への宅配サービスなども展開。



岡山県新見市(旧哲西町)

役場庁舎の建替えをきっかけに全住民にアンケートを実施。最も要望の高かった診療所を軸に、庁舎、保健福祉センター、図書館、ホールを集約した複合施設を町中心部の道の駅に隣接するエリアに整備。路線バスを經由させ交通手段を確保し、旧町エリア全体の生活を支えるワンストップの拠点づくりを実現。



詳しくは、ガイドブック本編をご覧ください

(http://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/kokudokeikaku_tk3_000010.html)

この資料に関するお問い合わせ先